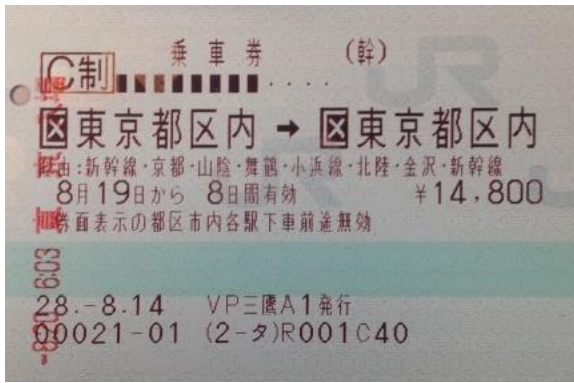
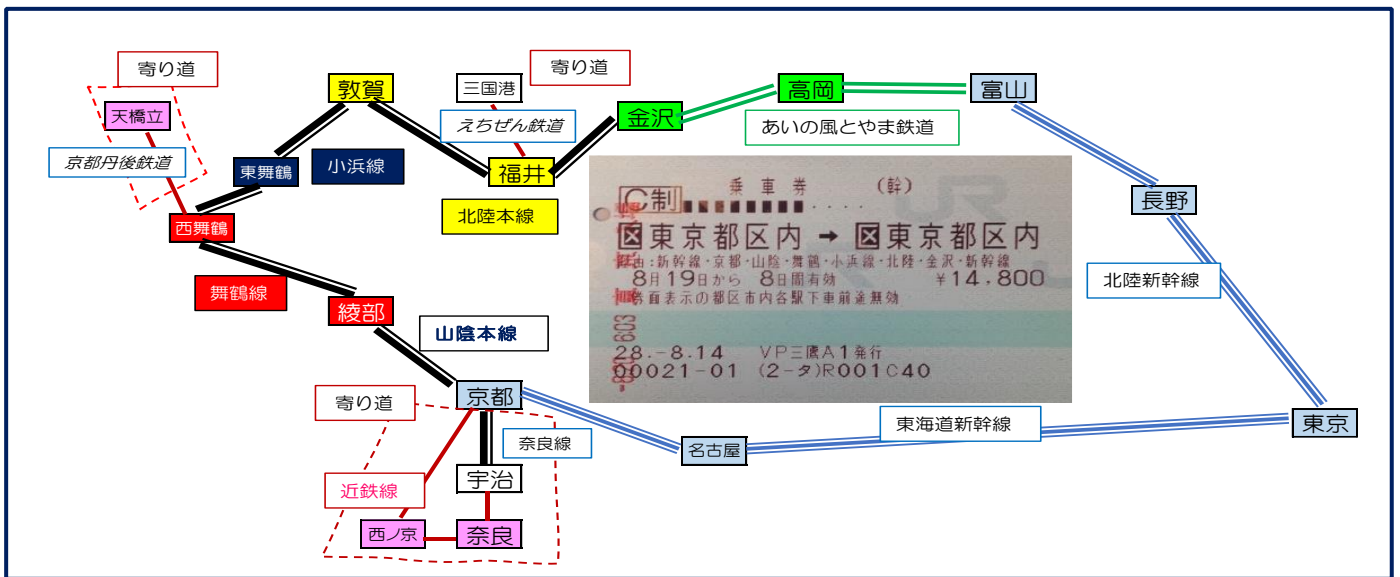


フォトラベル第3弾 ぐるっと北陸大回り一周 1300km!



今回は左のような乗車券です(今回もJRから許可を受けて使用済みの切符をもらい受けています)。東京(新幹線)京都(山陰本線)綾部(舞鶴線)西舞鶴-東舞鶴(小浜線)敦賀(北陸本線)福井(北陸本線)金沢(北陸新幹線/あいの風とやま鉄道)高岡(北陸新幹線/あいの風とやま鉄道)富山(北陸新幹線)東京 約1,300km弱



略図ですが、余計周りに一周しました。途中奈良・天橋立・東尋坊・高岡等寄り道もして前回の信州・紀伊半島一周と同様に二泊三日の行程です。

いつも欲張りなツアーをプランニングするので朝はほどほどに早くなってしまいます。

先ずはいきなり寄り道で京都からは近鉄線で京都へ(約30分)西ノ京駅前には世界遺産の薬師寺があり、薬師寺から北へ約10分歩くと“天平の臺”唐招提寺”。バスで約20分で近鉄奈良駅に、のんびり5分ほどで猿沢の池から国宝阿修羅像のある興福寺、さらに東の丘を目指すと奈良公園から春日大社、丘を下り再び鹿の大群をすり抜けると大仏で有名な世界遺産の東大寺、JR奈良線で30分宇治川の畔にあるのが世界遺産の宇治平等院。ほぼ一日たっぷり使った寄り道を終えて京都駅にもどってきました。



興福寺



奈良公園



春日大社



東大寺



大仏



平等院



京都からは溪谷美の保津峡を見ながら山陰本線を西へ綾部を經由して北上し西舞鶴（直通の特急まいづる号なら1時間30分）ここで一泊。翌日は京都丹後鉄道の始発（特別車両）で日本三景の天橋立へ、とんぼ返りで西舞鶴に戻り隣の東舞鶴で小浜線（ワンマン運転）に乗り換える。若狭湾を左に見ながら黙々と進み福井県に入る、三方五湖を過ぎると米原からくる北陸本線との合流敦賀駅に到着（全23駅約2時間ほど、ちなみに各駅停車しかありません）。

京都駅



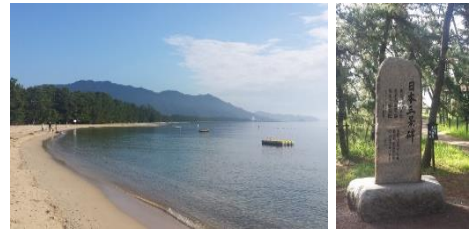
舞鶴駅



京都丹後鉄道



天橋立



東舞鶴（小浜線）ワンマン運転



若狭湾



敦賀駅



宇宙戦艦ヤマト



気比神社



旧敦賀港駅方面



旧敦賀港駅



明治時代のヨーロッパへの道のり（欧亜国際連絡列車）は東京から敦賀経由でウラジオストック、シベリア鉄道を利用して「パリ方面がメインのルートだったそうで旧敦賀港駅舎が今では資料館として残っています。そのため松本零士さんのアニメ（銀河鉄道 999 等）とコラボして街中に約30体のキャラクター像があります。

敦賀から福井へは北陸本線になります、ここは特急（サンダーバード）もあり2駅約30分で到着。海方面と山方面に有数の観光スポットがあるのですがアクセスの関係で寄り道は海方面へ“えちぜん鉄道”で三国港駅へ（田園地帯を約50分）、駅前には港が広がり

東尋坊へはバス利用。真夏の時期なのでかなり穏やか TV 番組で見るような荒々しさはありませんでした。再び福井駅に戻ると駅前のほど近いところに柴田神社があります、ここは戦国の武将大大名の柴田勝家の墓所であり居城の“北ノ庄城”があった場所でこじんまりとした公園にもなっています(公園内にはもちろん奥方様のお市の方や浅井三姉妹の像もあります)、松平家の別邸であった養浩館の庭園も見事、そして福井駅の西口のメインはなんとといっても恐竜の壁画(横45m)の巨大なイラストと三体の実物大の動く恐竜もいます。(旅は此处で二泊目となります)

えちぜん鉄道福井駅



北庄城跡/柴田神社

三国港駅



養浩館

東尋坊



福井城跡

恐竜の駅



最終三日目は、北陸本線で越前の名湯“蘆原温泉”から加賀温泉小松空港を経て加賀百万石の金沢に到着(特急で50分程)。

金沢駅兼六園口にあるのはシンボルの“鼓門”、バスで10分程国の特別名勝の兼六園と金沢城跡。天守閣はありませんが大手門と前庭そして菱櫓と五十間長屋でその外観に圧倒されます。裏側には“玉泉院丸庭園”の優雅さはまさしく百万石。石川橋を渡ると日本三大名園の兼六園、前田家五代180年かけて築庭で殿様気分満載そしてシンボルは“徽軫(ことじ)灯籠”で手前の虹橋と映る雪景色が印象的。街並みの美しい“ひがし茶屋街”や近江市場も近隣にあります。

鼓門



五十間長屋



兼六園



徽軫(ことじ)灯籠



能登半島へも足を伸ばしたかったですがスケジュールの都合で今回は見送りまして、つぎに興味を持ったのは日本三大大仏がある城下町。金沢からは本来新幹線の利用になる切符ですが

別料金で第三セクターの IR いしかわ鉄道に乗り込みます。日本海の最大幹線は金沢から直江津まで JR 線はなくすべて第三セクター運営されているため特殊な切符は買えない状態となっています、すごく残念な感じがします。さて40分程ローカル線を楽しみながら降り立ったのは富山県第二の都市高岡城の城下町“高岡”です。大仏寺にあるのが総高15mの高岡大仏で鎌倉・奈良にとらぶ大仏だそうで(個人の感覚にさがありますが?)。今度は“あいの風とやま鉄道”で最終目的地富山を目指します(各駅停車で約15分チョット)。福井もそうですが富山も路面電車が走っています。駅からほど近い富山城は残念ながら天守はありませんが模擬天守が歴史を伝えます。平城ですが神通川の流れを防御に利用したため浮城の異名もあります。また“荒城の月”の着想の元になった城の一つともいわれています。

二泊三日で1300kmあまり途中欲張りな寄り道もあったりして、大変長くなってしまったフォトトラベルレポートとなってしまいましたが、東京から北陸に行くには今では新幹線で3時間で着きます、東京と京都間の往復運賃は16,720円、今回の乗車運賃は14,800円(どちらも旧料金を含んでいません)とかなりお得なものです。まだまだ沢山面白そうな切符ができそうです。

地方線はキャラクターばやり 高岡駅 こじんまり高岡大仏 新幹線でリニューアル



高岡城跡



運河もイチ押し



富山城跡



新幹線富山ホーム



さて? 次のトラベルプランは……………?